

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

2018年3月27日

本日の講演者、リネットジャパングループ(株)について

- 2000年にトヨタ自動車、ブックオフのサポートを得て創業、2016/12 東証マザーズに上場
- 日本最大級のネット中古書店 **NET OFF** を運営
- 100%子会社のリネットジャパン(株)にて小型家電リサイクル法の認定を取得し参入
- メダルPJの提案者であり、現在は日本環境衛生センターと協働し事務局として広報等を担当

社名 リネットジャパングループ(株)

(東証マザーズ上場 証券コード3556)

創業 2000年7月27日

本社 愛知県名古屋市

資本金 580百万円

主な株主 黒田 武志

豊田通商(株)

トヨタ自動車(株) 等

従業員 344名(パート・アルバイト含む)

100% リネットジャパン(株)

子会社 <小型家電リサイクル法 認定事業者>



代表 黒田 武志 略歴

1965年11月5日生(52歳)

1989年04月トヨタ自動車(株)入社

1998年07月 " 退社

1998年05月 ブックオフFC加盟店
(株)ブックオフウェーブ 設立
代表取締役 就任

2000年07月 黒田・ブックオフ・トヨタ自動車の出資により
(株)イーブックオフ 設立
代表取締役 就任

2005年10月 ネットオフ(株)に社名変更

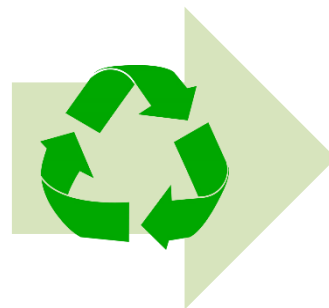
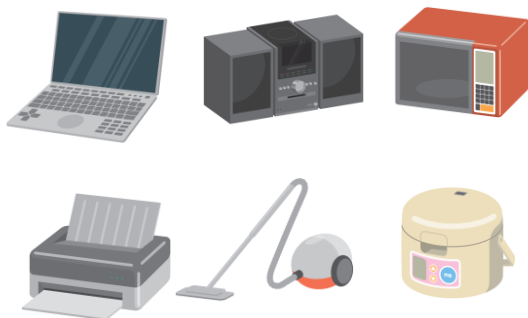
2014年10月 リネットジャパングループ(株)に社名変更

2016年12月 東証マザーズ上場

東京2020大会のメダルを、 小型家電リサイクルを通じて作るPJがスタート

- ◆ オリンピック史上初の試み
- ◆ リサイクルを通じて東京2020大会へ参画
- ◆ 「都市鉱山リサイクル」をレガシーへ

ご家庭で
不用になった
小型家電



メダルに
生まれ
変わります。



メダルPJ 決定までの経緯について

公募開始前 東北3市(大館、八戸、一関)が「都市鉱山でメダルを！」という趣旨で
オリンピック組織委員会へ提言

東北3市とも連携をとり、リネットジャパンと大府市が発起人となり、
メダル運動における自治体連携組織「都市鉱山メダル連携促進委
員会」を発足。 ※発起人代表:愛知県大府市 岡村市長
(次頁 報道記事ご参照)

2016/11 「みんなのメダルプロジェクト」公募開始
上記委員会を母体に、リネットジャパン、および弊社地元の大府市の
呼びかけで、126自治体が賛同を表明
リネットジャパン・スズクホールディングス・リーテムの3社で共同提案す
ることが決定

2016/12 企画提案を提出

2017/1～2 プレゼン審査 & 採択
日本環境衛生センターを運営の主体者とすることを提案し、
NTTドコモ社と一緒に事業協力者として採択される。

メダルPJについて

メダルは約5,000個、約8トンの金属が必要
→ 資源を多く含むパソコン・携帯電話の回収が重要

メダル個数と必要な金属量

メダル制作に最低限必要な原材料（オリンピック・パラリンピック合算）

メダルの種類	製造個数	金	銀	銅
金メダル	1,666	10kg	616kg	40kg
銀メダル	1,666	-	616kg	50kg
銅メダル	1,666	-	-	646kg
金属合計重量 (kg)	-	10kg	1,233kg	736kg
(参考) 歩留まりを考慮 した必要量	-	約40kg	約4,900kg	約3,000kg

※ メダルはオリンピック・パラリンピック合計5,000個分を想定。
※ メダルの重さ・組成はロンドン大会のメダル(1個400g)のもの。(リオ大会のメダルは1個500g)
※ 製造時の歩留まりは4倍程度を想定。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会第16回理事会（H28.11.9）資料抜粋

小型家電リサイクル法認定事業者による金・銀・銅の再資源化実績（平成27年度）

	金	銀	銅
金属量合計	約214kg	約2,563kg	約1,469,000kg

必要な回収量(当社試算)



170万台



2,000万台

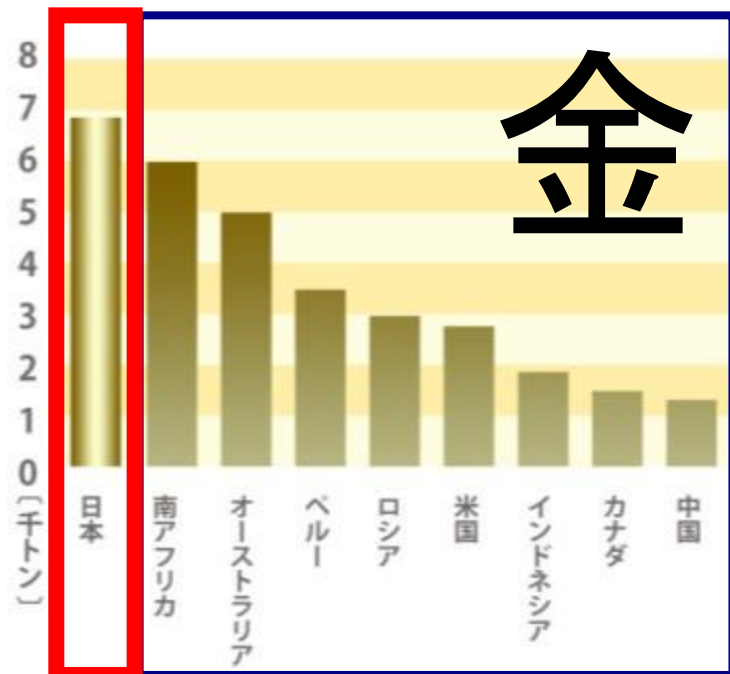
(参考)都市鉱山の埋蔵量

地上に眠る製品等に含まれる資源は“都市鉱山”

日本には、世界有数の資源大国並みに埋蔵

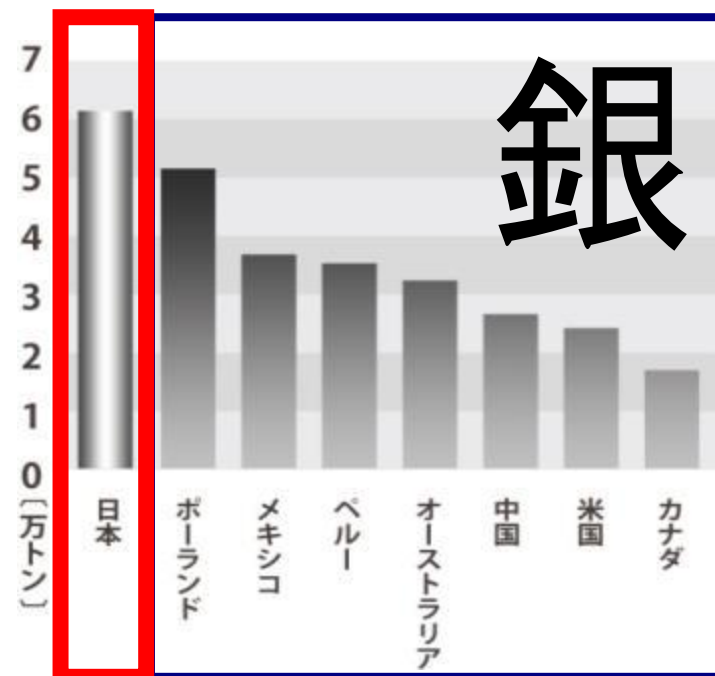
都市鉱山と天然鉱山の埋蔵量の比較

出典：物資・材料研究機構



都市鉱山

天然鉱山



都市鉱山

天然鉱山

自治体の参加状況

自治体・参加認定事業者が回収を実施

1,300以上の自治体が、メダルPJへ参加

自治体の参加状況

2018年3月9日現在

地域区分	都道府県	市町村数	参加数	参加率
北海道	北海道	179	102	57.0%
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島	227	162	71.4%
南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川	212	187	88.2%
北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野	208	157	75.5%
北陸	新潟, 富山, 石川, 福井	81	69	85.2%
東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重	160	142	88.8%
近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山	198	158	79.8%
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口	107	81	75.7%
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知	95	88	92.6%
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄	274	203	74.1%
総計		1,741	1,349	77.5%

※地域区分は統計局のルールに基づき作成

主な回収方法

携帯電話は、専用回収ボックス等 パソコンは、宅配便回収(無料)等

※他の小型家電も自治体・PJ参加認定事業者によっては回収しています。

お住いの自治体へ



PJロゴの入った回収ボックス



イベント回収

参加認定事業者へ



リネットジャパン社の宅配便回収など

※全国のdocomoショップでも、本プロジェクト用の携帯電話の回収を行っています。

PJ専用WEBサイト

<http://www.toshi-kouzan.jp/>

回収を促進する普及イベント

自治体と一緒に、リサイクル回収を促進するイベントを開催

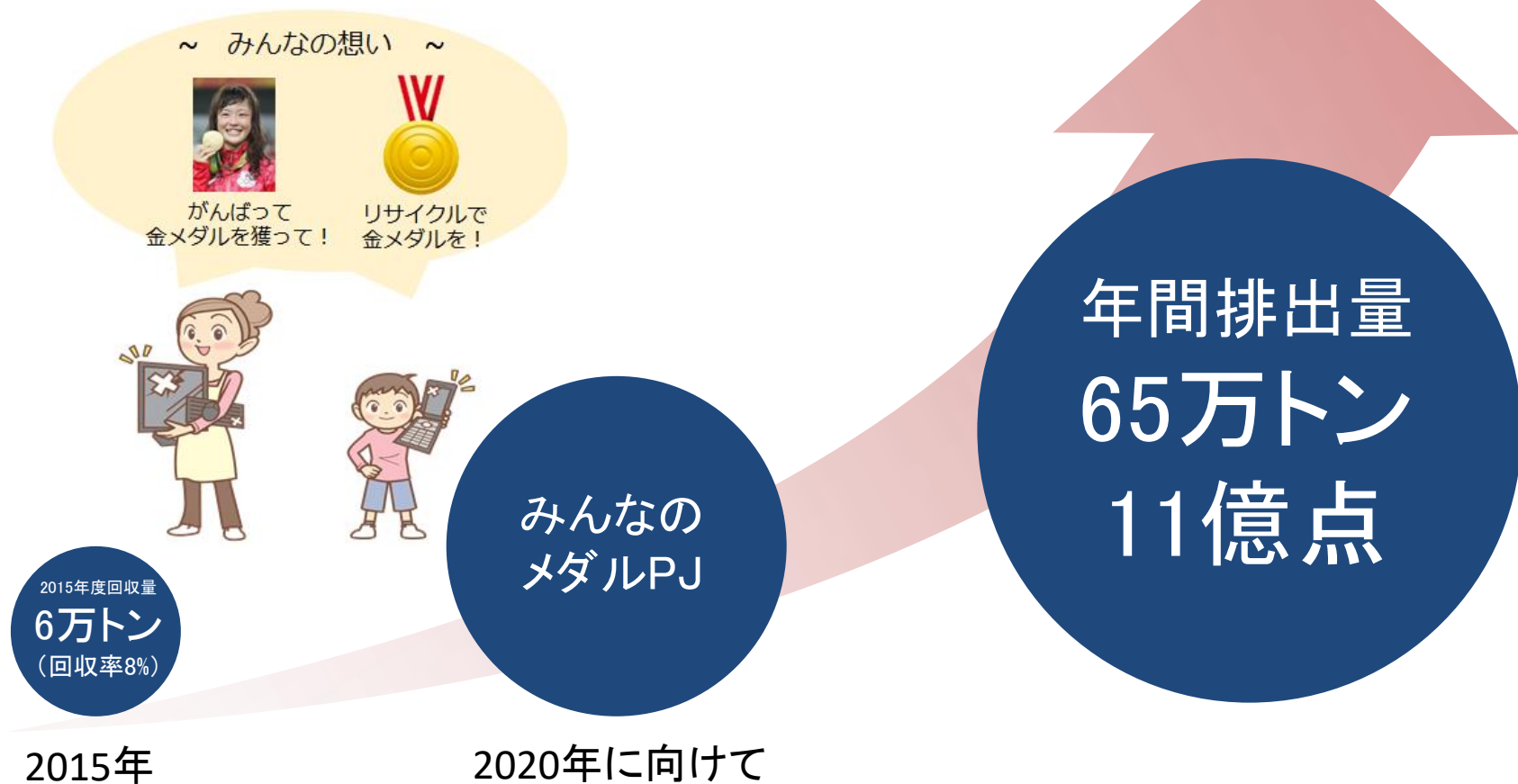
～ 2017年11月 東京都庁で実施した普及啓発のイベント～

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」 パワーアップイベント ～年末、宝探しを東京から～



メダルPJを通じたレガシー

メダルプロジェクトは、小型家電リサイクル制度の 認知(リサイクルの意義)を高める絶好の機会





「便利」で「あんしん」
リネットジャパンの

宅配便回収



小型家電
大臣認定 第0024号

全国
対応
※離島除く

自宅
回収

年中
無休

最短
翌日

PC
データ
消去

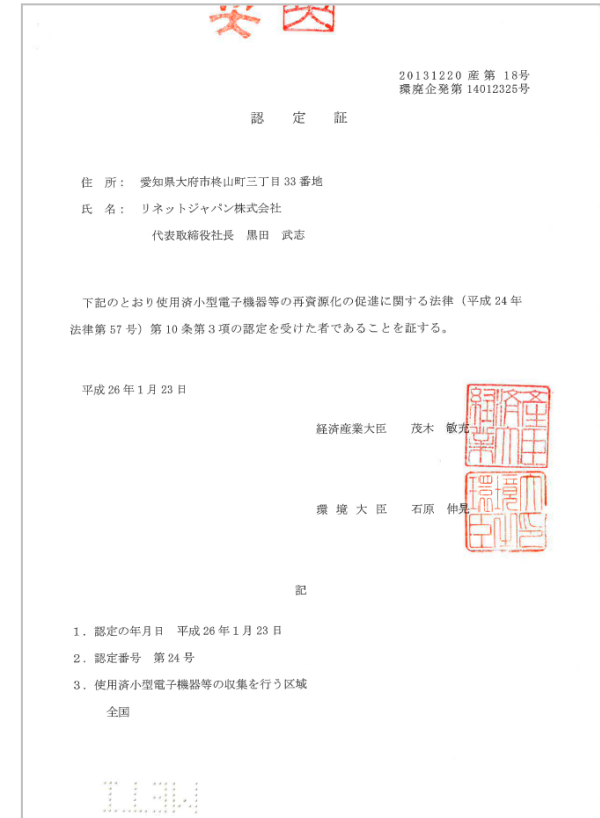
URL <http://www.renet.jp/>

2014年1月 小型家電リサイクル法の認定を取得

- ✓ **宅配便回収**では国内唯一の許認可を取得
- ✓ **全国エリア**を対象とした認定は全国初
- ✓ **BtoC型サービスを専門**に提供する事業者



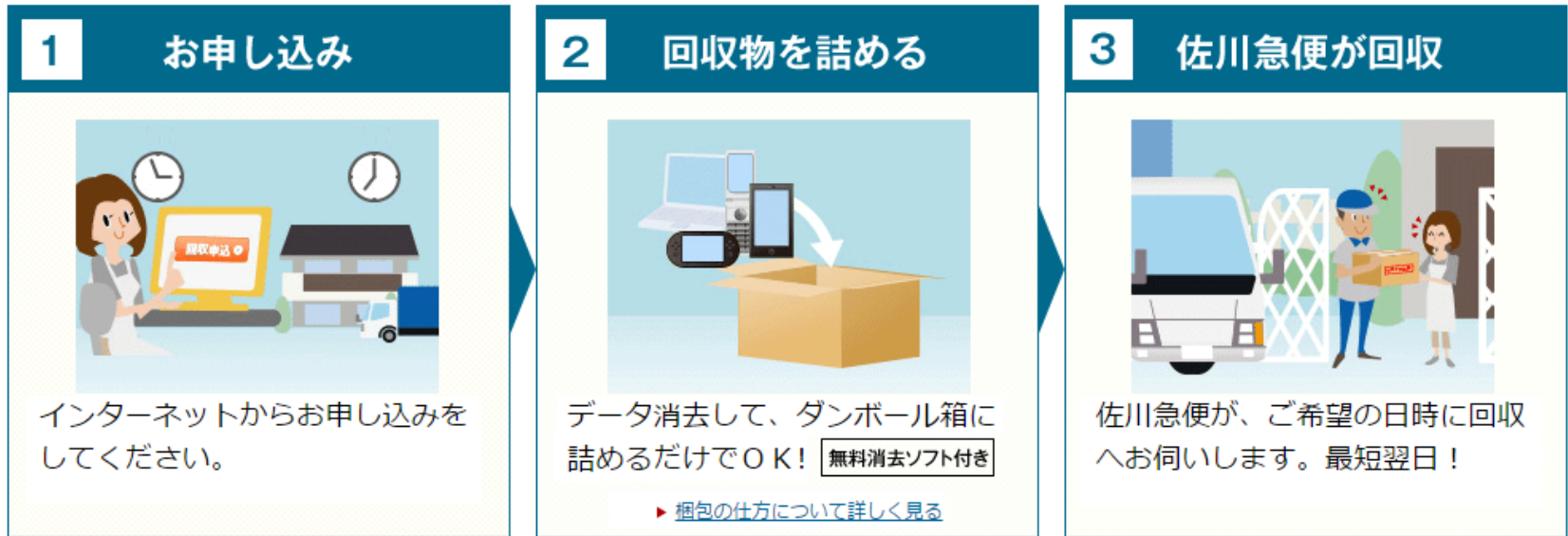
小型家電
大臣認定 第0024号



※宅配便回収以外に、店頭回収・イベント回収等の認定も取得しています。

自宅(玄関先)から希望日時に佐川急便が回収 自治体の“ごみ回収”より便利

(ご参考) 自治体の粗大ごみ・不燃ごみの収集日は月に1～2回、申込みも1週間前まで・・・等



お支払い方法 クレジットカード・銀行ネット決済の方… お申し込み時にお支払いください。
現金の方… 回収時に佐川急便ドライバーにお支払い下さい。

回収から処理完了まで、トレーサビリティを提供しています。
工場到着・処理完了を「メール」「マイページ」でお知らせしています。

箱に入れば、何点入れても1箱1,500円(税抜)



※箱のサイズの上限：3辺合計140cm、20kg以内

回収料金に含まれるもの

① 送料 (1,500円相当)

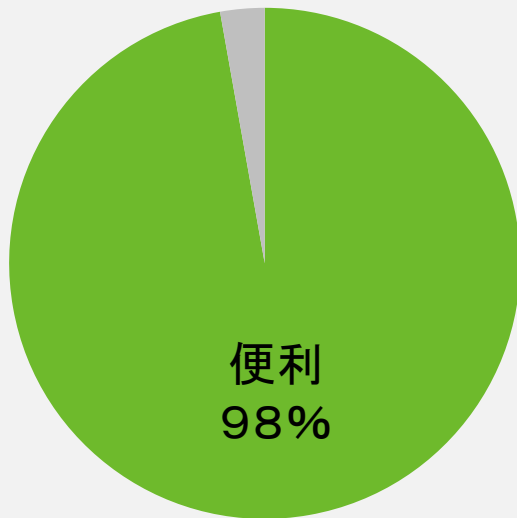
② リサイクル料

さらに

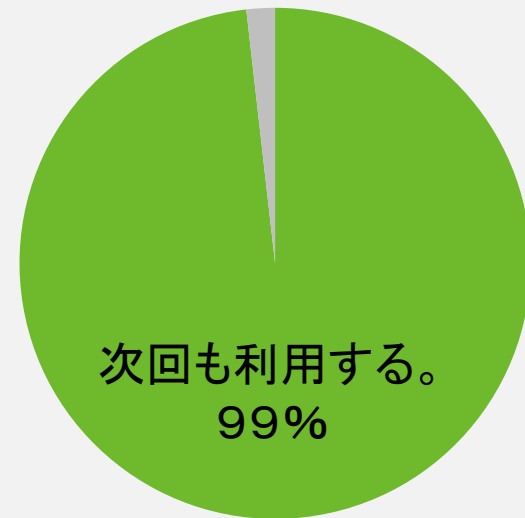
PCのデータ消去
ソフトが無料で使える

お客様満足度が高い回収方法です。

Q1. 市町村のごみ回収と比べて



Q2. 次回も宅配便回収を利用するか？



行政回収の一環として自治体と連携しています。



2014/6/12
愛知県大府市 久野市長



2014/6/25
愛知県小牧市 山下市長



2014/9/24
京都市 足立局長



2015/2/2
さいたま市 清水市長



2015/3/26
浜松市 鈴木市長



2015/5/13
川崎市 福田市長



2015/6/30
京都府長岡京市 中小路市長



2015/7/21
福岡市 高島市長



2015/9/29
東京都稲城市 高橋市長



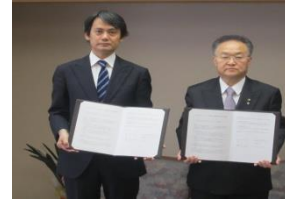
2015/9/30
新潟市 篠田市長



2015/12/17
埼玉県本庄市 吉田市長



2016/1/27
相模原市 加山市長



2016/2/23
埼玉県川口市 奥ノ木市長



2016/2/24
仙台市 伊藤副市長



2016/2/24
宮城県涌谷町 大橋町長

143自治体(人口3,532万人)と連携中

●政令市



●東日本



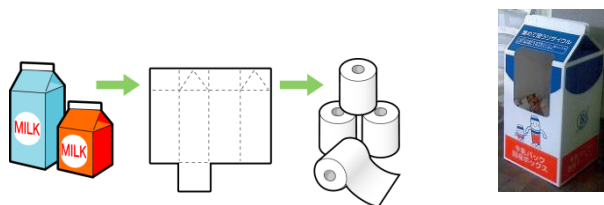
●西日本



メダルを作ることが目的ではなく、メダル運動を機に、 小型家電リサイクルを世界に誇れるリサイクル制度に

(例) 消費者が自発的に参加する
日本のリサイクル運動

●牛乳パック・リサイクル運動



●エコキャップ運動



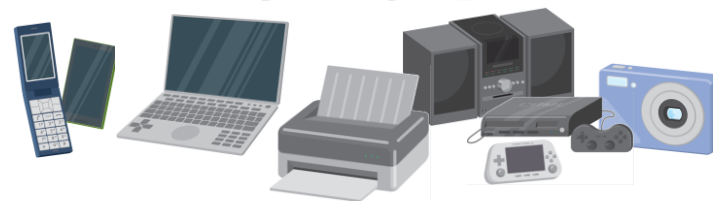
日本が誇る、国民が自発的に参加する
リサイクル制度へ

2020年以降もレガシーとして、「小型家電を捨てたらもったいない」を合言葉に、小型家電リサイクル制度が定着することを目指します。



このマークは、国が定めた
小型家電リサイクル法認定
の適正回収方法に使用さ
れています。

小型家電



最後に・・・

「都市鉱山リサイクル」を、

日本の代表的な「もったいない運動」へ

そして、**世界の「もったいない運動」**へ

